

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 小山 彩  
所属 (School) 工学域電気電子系学類  
学年 (Grade) 3年

留学先 (Name of overseas institution)  
フランス セルジー・ポントワーズ大学(交換留学)  
留学期間 (study abroad period)  
2017年8月~2018年2月  
記入日 (Date) 2018年2月14日

## 留学レポート Study Abroad Report

まもなくセルジー・ポントワーズ大学での交換留学が終了します。半年間を振り返りながらこのレポートを書きたいと思います。

私は日本語英語学科というところで現地の学生と共に授業を受けていました。内容は、日本語文法・翻訳・日本の歴史などを選択していました。フランスの授業はCMという講義タイプのものでTDというゼミタイプのもがあります。授業は基本フランス語なので、全てを聞き取って理解するのは難しかったですが、フランス人の学生に助けをもらいながらついていくことができました。ここで学んでいるフランス人学生はとてフレンドリーで、日本に興味ある子ばかりです。文法などは苦手でも、日本語は上手に話す子も多く、驚きました。

先生やフランス人の学生から、日本語について質問されることもありました。文法や言葉の意味など、なんとなく分かっている言葉でもきちんと説明するのは難しかったです。また、今まで考えたことなかった文法の違いを改めて考えさせられました。

また、CILFACという留学生向けのフランス語の授業もあります。こちらは語学学校のようなもので、レベルごとに分かれて他の国からの留学生と共に授業を受けます。私のクラスには、韓国や中国、ドイツ、イタリアなどからの留学生がいました。セルジー・ポントワーズ大学には本当にたくさんの留学生がいるので、彼らと話すことで自分と違った考え方を知ることができていい刺激になりました。授業中はフランス語で自分の意見を述べなければならない場面が多く、最初は何も言うことができずにしどろもどろしてしまいました。しかし、回を重ねるごとに少しずつ発言量も増やしていくことができ、理由を言ったり、細かく説明したりすることができるようになっていきました。他の留学生と仲良くなることで、みんなもこの授業を難しいと感じているから自分も頑張ろう、と思えるようにもなりました。おそらくこの授業では、日本人は他の留学生と比べると上手く話せず、落ち込むこともあるかと思いますが、他の留学生は文法が苦手だったり、話しているのをよくよく聞いてると細かいところは意外と間違っていたりするので、今後留学に行かれる方も、落ち込みすぎずに頑張ってください。

大学では留学生向けのイベントも開催されているので、それらに参加すると多くの学生と知り合うことができます。日本語英語学科以外の学生や他の国の留学生でも日本のアニメや漫画が好きな学生は多く、私たちより良く知っていたりします。そういった学生と話すことで、新たな人とのつながりが生まれました。





大学以外では、とにかくたくさん出掛けるようにしていました。町へ出かけると、いろんな出会いがあります。急に声をかけられて、アイドルについてマシンガントークされたり、レストランでたまたま隣に座っていた方が、日本語を学習している人だったり。日本人というだけでいろんな人が話しかけてきてくれます。そういった人たちと会話することはとても興味深いですし、フランス語会話のいい機会にもなります。私たちよりも熱く日本のことを語ってくれ、今まで気づかなかった日本の良さに気づくこともできました。もちろん日本についてあまり知らない人と出会うこともあります。そういった人たちも、話すと日本に興味を持ってくれ、日本についていろいろ聞いてくれたりします。

さて、フランスに来てから今まで、いろいろなことがありました。手続きなど、大変なことも多かったです。分からないことも多く、そのたびにいろんな人に聞いて回りました。フランスでは、問題が起きて解決まで時間がかかります。何度も何度も頼んでみるのが大切です。学校の人たちは優しい人が多いですが、街の人たちはみんながみんな親切にしてくれるわけではありません。フランス人に話すのと同じように話されて理解できずに呆れられ、話を聞いてもらえないこともしばしばです。そんな中でも諦めずに何度も聞きに行ったり、頼みに行ったりしました。最終的には嫌われてもかまわないと思い、とりあえず自分がやってもらいたいことはやってもらえるまで言いました。日本人的には自己主張の強い少し嫌な人間になってしまったかもしれませんが、そのくらいの気力はフランスでは必要です。メンタル的に少し強くなった気がします。



私が留学にきて大切だと思ったことは、とにかく何事も積極的に、ということです。例えば、イベントへの参加だったり、観光だったり、旅行だったり。友達との日常会話もそうです。積極的に話し、積極的に動く。自分から動かないと何も始まりません。問題解決にしても、先生や学生はみんないい人たちですが、困っていたら向こうから手を差し伸べてくれるということはありません。でも、頼んでみると快く引き受けてくれます。積極的に話すことで、会話の上達にもなります。最初は挨拶だけでもいいと思います。自分から話しかけると、相手が質問してきてくれ、会話が広がることもあります。下手でも、失敗してもいいからとにかくやってみることが大切だと思います。

今留学を考えている人も、少しでも興味があるのなら、ぜひ挑戦してほしいと私は思います。どうしようか、と迷っているなら、思い切って動いてみてください。迷って機会を逃してしまうことが一番もったいないと思います。踏み出してみれば、何か新たな発見があるかも知れません。留学中にする経験はきっとかけがえのないものになるはずです。頑張ってください。

